

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表：令和 3年度

事業所名 リバー学習センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			個別指導なので職員は過分に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		事業所内には段差はないが、玄関口に段差がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			ミーティングは必須で行い全体会議も定期的に行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			事業所内相談や連絡帳などのやり取りで意見交換をしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所内に掲示し、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部外部問わずに参加し情報を収集している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			学校保護者と連携を取り日々の気付きと合わせ計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			各児童に合ったプリント、テキスト等を相談しながら選んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○		学習支援に特化しているため学校の授業に合わせている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日、休日、長期休暇は希望があれば授業時間を変更している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○		学習支援を個別に行っているため集団活動は計画していない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日ミーティングを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎日ミーティングを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			放課後デイ日誌を付けている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			3か月に1回個別計画書を作成している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○		児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者からの希望や相談を聞き、学校の先生とも連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な子供は現在いないが連絡体制は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要と感じた場合のみ情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	学校を卒業する利用者がまだいない。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要な研修は受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		塾の生徒と一緒に勉強したり、話をしたりする。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		淀川区子ども会部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日連絡を取る保護者もいたり様々だが、定期的に話し合いの場を持つようになっている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		送迎のある子どもに対しては事業所内でP.T支援を行っている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		事業所内に掲示し、契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談の場では利用者の様子だけでなく、家庭での事や悩みに対しての助言も行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者同士の連携の場は提供していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情の窓口を設けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動内容は専用の連絡帳でやり取りをしている
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	学習支援を個別に行っているため、地域行事には参加していない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		いつでも閲覧できるように事業所内に配置している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期定期に避難訓練や職員でミーティングを行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		大阪府の資料などでミーティングを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		該当者は居ないが今後のため研修やミーティングを行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事は提供していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内に配置している。